

美郷町指定文化財 坂本東嶽邸 リニューアルオープン

美

郷町指定文化財である坂本東嶽邸がリニューアルオープンし、「蔵」と「離れ座敷」を6月1日から公開しています。これまででは東日本大震災の影響により公開を中断していましたが、平成28年度から行ってきた改修補強工事等がこのたび完了し、邸内すべてを観覧できるようになりました。



蔵

1階には坂本家にまつわるお祝いの所蔵品(金銀細工のかんざし、べっ甲かんざし、輪島塗など)や坂本理一郎(東嶽)が遺した文書の一部を、2階には坂本家の年表や坂本理一郎を中心としたパネルを展示しています。

展示品のほか、巨大な梁(はり)や等間隔に連続する120本の柱など、坂本家の蔵の特徴を見て楽しむことができます。



■1階



■2階

離れ座敷

窓に使用している手延べガラスは建築当時から変わっていません。波打つ表面が特徴で、このガラスを通して見る外の風景は揺らめいて見えます。このほかにも、随所で坂本家のこだわりを感じることができます。

今回の工事にあたり、料理を囲みでの各種会合ができるように改修しています。会議や会食を計画される場合には、坂本東嶽邸の離れ座敷をぜひご利用ください。



千屋断層学習館を新たにオープンしました

これまで管理棟として使用していた建物を一部改修し、「千屋断層学習館」を新たにオープンしました。千屋断層学習館には、陸羽地震と千屋断層に関する研究成果や町が所有する資料を展示しており、生涯学習や学校教育の総合的な学習の場として活用することができます。

皆さまのご来館をお待ちしています。



タイ王国との交流

タイ王国バドミントンナショナルチームのサポート体制が強化されました!

5月28日、秋田大学医学部・タイバドミントン協会・タイ王国のマヒドン大学の三者による「医療ケアの態勢構築に関する基本合意」の調印式が行われました。この基本合意により、タイ王国バドミントンナショナルチームが美郷町で実施する東京2020オリンピックの事前合宿において、ケガや病気等が発生した場合には秋田大学医学部による医療サポートが行われることになりました。

現地で行われた調印式には松田町長も出席し、

■調印式に出席した松田町長(左から2人目)



立会署名をしています。来年に迫る東京2020オリンピックに向けて、ホストタウンとしてのサポート体制が強化されました。

先日の休日、久しぶりに映画作品が見たくなり、旧作ですが名作の「アポロ13号」のDVDを借りてきました。観ると、やはりおもしろい。困難にハラハラさせられながら、それを乗り越えていく乗組員の苦悩と努力、そして地球への帰還。史実であるがゆえに涙が出ます。改めてアポロ計画の偉大さを感じますが、その計画の起点がジョン・F・ケネディだったことをみなさんはご存知でしょうか。

第35代アメリカ合衆国大統領のケネディは、宇宙開発をはじめキューバ危機など様々な事案に対応し、アメリカ人の好きな大統領ランキングで今なお上位の大統領とのこと。そして就任演説では「国が諸君のために何が出来るかを問うのではなく、諸君が国のために何が出来るかを問うてほしい」という言葉を残しています。

このケネディの言葉、至極名言で、すべてに通ずる真理であると思います。地域振興や産業振興、教育や福祉などにおいても常に求められる姿勢ではないでしょうか。自分が全体のために何が出来るのかを問うとともに、主体的に行動していけば全体が必ず良い方向に向かう、私はそう思います。そして現在、公衆衛生の分野、具体的には風しん対策でもその対応が求められています。

風しんは昨年国内で流行しており、国は今年度から3年間の緊急対策として、抗体検査と予防接種を実施しております。風しんは妊婦さんが罹患すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群を発症する可能性があることとされ、妊婦さんには避けたい病気です。美郷町では妊婦さんを守る観点で、3か年間ではなく単年度で実施することとし、既に対象者全員に受診クーポン券を渡しております。

しかし、早朝検診が終わった段階では受診割合が12%と低い状況です。抗体の有無を確認し、無い場合はワクチン接種して風しんを拡大させない意図です。地域のために自分が何が出来るかを考えていただき、できる限り対応していただきたいと思えます。

ところで、私かなぜ「アポロ13号」を観たいと思ったのか。それは今年13日から学友館において「謎の宇宙展」を開催するからです。ということ、最後にPR。こちらも早期に対応を!

COLUMN WINDS

コラム

風

美郷町長

松田知己



坂本東嶽邸オープニングセレモニーにてあいさつをする松田町長

世のため人のために